

# 成長は無量大山



## スペシャルアプローチ始まる

10月5日、スペシャルアプローチの開講式がありました。お世話になる高校の先生方から授業内容や心構えなどについてお話をいただきました。

地元の中学生は高校入試に向けてがんばっている時期ですが、県中のみなさんは一足先に川島高校での授業を見据えて、「いまここ」を油断することなく歩む時期なのです。夢実現プロジェクトに記した「なりたい自分」に向かって、仲間といっしょに切磋琢磨していきましょう。

自分の力を高めるには、必ず苦勞がともないます。しかし、苦勞を乗り越えると「わかる楽しさ、力が高まる喜び」を味わうことができます。「わかるまでの苦勞」から逃げずに、「わかる楽しさ」を知ってほしいと思います。



## 総合学習での学び



1学期から総合学習で、「よりよい社会の実現に向けて、自分に何ができるかを考える」をテーマに、社会課題について考えてきました。社会課題を知り、社会をよくするために何が必要で、自分はどのように関わることができるかを、仲間と協働しながら考えてきました。

昨年からさまざまな発表活動を積み重ねてきましたが、みなさんの活動の様子や振り返りシートを読んで、3年生での学びの深まりを感じとてもうれしく思います。

総合学習での振り返りシートから、抜粋を紹介します。

○社会課題の学習をして自分なりに「こうできる」と考えられるようになった。今までなら、問題があっても「あるんだ〜」としか思っていなかったけど、「自分ならこうできる」と考えられるようになった。

○社会課題を解決しようと立ち上げた会社が存在している。自分はたとえ課題があってもそこにリスクがあると感じたら、わざわざそのための会社を立ち上げようとは思わず、安定した将来性のある会社を選ぶと思う。自分にできないようなことをしたそのような人たちは、リスクをかえりみないずばらしい人だと感じた。

○僕は動物の殺処分のことを聞いて、とてもショックを受けた。全国で犬・猫などが殺処分され死んでいっている。僕は犬を飼っているのでも心が痛かった。まだまだ生きることができ、優しい人のもとで幸せに暮らせるかもしれないのに、殺処分されるのがとても悲しい。

○家族でテレビを見ていて社会課題が出てくると、それについて語り反応するようになったり、他の誰かに教える力がついた。また、1つの情報をひたすら信じ込まずたくさんの情報を整理してから考える能力がついた。

○過疎について調べる前は「ここ行きたいな」と思うだけで、深く掘り下げようと思ったことはなかった。しかし今は「木頭で同じ事をしたらどうなるだろう」とか油の商品を見ると「このパッケージはどこにこだわっているんだろう」と考えることが多くなった。また、牛の問題を聞いたときハッとした。牛乳は雌牛から頂いている。では雄として生まれてきた牛はどうなるのかという視点は私にはなかった。それ以来牛乳を飲むたびに、どうすればこの問題が解決されるのかと考えてしまう。牛は乳を人間にあげるために生まれてきたのか、肉を与えるために生まれてきたのか。人間の利用価値の有無でしかものを見ない悪い姿勢の一つではないかと考えるきっかけになった。

○私は化粧品などを買う際、商品の裏を見て動物実験のマークが付いているか確認するようになった。TikTokやYouTubeで動物実験や動物の殺処分に関するものが流れてくると見たり、調べたり、自然とキーワードや動画などに意識が向くようになった。また、サイトにいった時、2つの社会課題のアンケートがあるようになった。友だちの発表を聞いて一番びっくりしたのは、動物実験を減らすためにAIを使い、今まで使用した薬品を記録し、同じ実験をするのを防いでいることだ。今までは未知のものを調べている人がたくさんいて、使用して大丈夫な薬品が把握できてないことがあった。研究者の意識を変えない限り動物実験を減らすことが難しいことがわかった。

○ある日YouTubeを開いたとき、おすすめ欄に「未来コンビニ」についての動画があった。今までなら絶対に興味などわいていなかった。しかしそれを見つけた瞬間「あっ、過疎地域のやつ！」と気づいた。社会課題について学ぶことで、自分の興味・関心の範囲がとて広がっている。確実にレベルアップしているようでうれしい。

○母とテレビを見ているとき、SDGsやフラワーロスのニュースがあり途中からだったので、それらについて説明ができた。その時、自分が社会課題についての知識が高まっているんだとわかった。また、最初はどのように調べたらよいか全くわからず、単に言葉を検索するだけだったが、大切なポイントを理解できるようになり、調べ方も工夫できるようになった。この力は総合学習の仲間といっしょにした活動によって磨かれたものだと思う。心を動かされたのは、農家の方が今まで大切に育てていた花を捨てなくてはいけなくなったとき、泣きながら捨てていたことだ。絶対に捨てたくはないはずなのに仕方なく捨てることになり、もし自分だったら仕事がいやになりそうだったし、たくさん辛い思いをしているんだとわかった。私はこれを見て様々な社会課題に目を通して、もっと知りたいこう思った。

○フラワーロスについて調べることで、花を扱う職業も良いかもしれないと思い始めた。花に関わる仕事は花屋だけでなく、花農家やフラワーコーディネーターなどたくさんある。特に花農家は楽しそうだ。植える時期、収穫する時期、温度管理、ロスフラワー等、大変なことは山ほどあるはずだが、小規模な農園ならしてみたいなと感じた。育てるだけでなく花の写真家にもなりたい。夢を広げることができた。

○今までは自分にあまり関係がないと思ってきたことが、実は結構重要だったことに気づいた。例えば食品ロスは、あまりないだろうと個人的に思っていたが、日本では600万トンもあることを知り、私もどこかでしていたのだと気づいた。食品ロスを減らすため、好き嫌いなく全部食べることを実行したい。

○物事の行き先を考えるようになった。数日前にサイズがバラバラの卵をもらったとき、「SやM、LLなど、どのサイズにも合わない卵はどうなるのか」ということを考えていた。それについて家族と話をして知識が広がったと思う。また、検索の仕方が上手になったと思う。いきずまったときでも、協力団体や組織のサイトに行ったり、イベント情報を見つけたりできた。情報を読み取って簡単にまとめる力がついた。メタモジに文章をそのままコピーしても意味がないと思ったので、読み込んだ。

○大企業の地球温暖化対策の話は一番深く感心した。大企業は、多くの人々に知られているので、その企業の取り組みは国や世界に影響することがわかった。そこには株などのお金のことも関係してくるので、大きな動きをするには基本的に資金が必要だとわかった。また、多くの企業が広告で出すような地球温暖化やSDGsには負けてしまって、見えなくなってしまう多くの課題があると思う。



行事	10月25日(火) ベネッセ講演会	10月27日(木) 吉野川市駅伝大会
----	-------------------	--------------------